

「ナノコンポジットコーティング」を付与した高耐久性漆器 玉虫塗



ワインカップペア

主要7カ国(G7)財務相・中央銀行総裁会議にて、ナノコンポジットコーティングのワインカップが各国要人への記念品に採用されました。

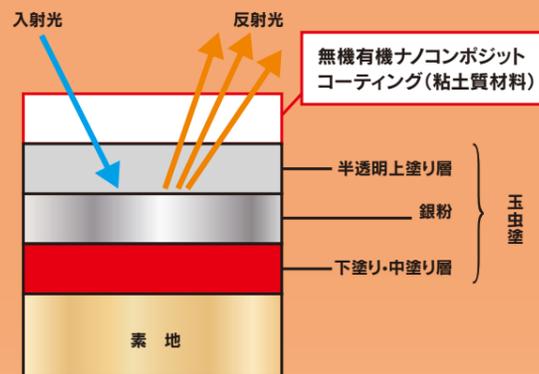


図:無機有機ナノコンポジット材料を用いるコーティング



製品概要

当社と産業技術総合研究所 東北センターが共同で、漆工の擦過性、耐候性等を向上させるナノコンポジットの技術を用いたコーティング(保護膜)を開発し、玉虫塗への応用を実現しました。

伝統技術の高度化により、現代のライフスタイルに合わせた商品への漆工の展開が広がります。また、食洗機にも耐えられるため業務用や海外での需要拡大、さらには携帯デバイスや自動車内装部品等の工業製品への応用可能性も期待できます。

英語では「Japan」と言われ、まさに日本の伝統美の代名詞である漆器文化ですが、ライフスタイルの変化や新しい消費者との接点の少なさから衰退の一途を辿り、30年前の半分以下の生産額に落ち込んでいます。

当社は、創業以来、時代に合わせた日用品を生み出し続けてきました。そして、今回、ナノコンポジットコーティングを開発(特許申請中)したことにより、日常使いに頼もしい耐久性を持った玉虫塗を皆さまにお届けします。

第6回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」受賞 (H27.11.2)

製品のセールスポイント

ナノテクノロジーを活用し表面の硬度を上げ、紫外線に強くするなど、食洗機への対応といった現代のライフスタイルにあった商品展開を可能にする機能を追加します。数値的な透明度と、漆器としての自然な美観を兼ね備えた特許申請中の技法で、玉虫塗の艶やかな光沢と華やかな色調を引き立てます。卓越した技能を持つ弊社の職人によって、一つ一つ塗り上げられ商品化が実現しています。

無機有機ナノコンポジットコーティング(粘土質材料)の開発は、産業技術総合研究所 東北センター 化学プロセス研究部門 首席研究員 蛭名武雄博士のクレイチームと共同研究をいたしました。玉虫塗の特許技術を1932年に生み出した、国立工芸指導所は、現在の産業技術総合研究所 東北センターとなります。

会社名 有限会社東北工芸製作所

代表者 代表取締役 佐浦 康洋

連絡先 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-44
TEL.022-222-5401 FAX.022-222-5462
E-mail info@t-kogei.co.jp URL http://www.t-kogei.co.jp/



みやぎ
優れMONO